

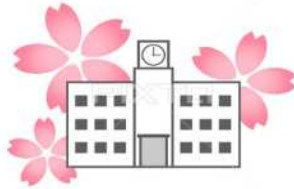
みやまえナビ No.1

和歌山市立宮前小学校

令和2年4月8日

(2020年)

校長 三宅 秀夫



教育目標 健・心・知の育成

「健」 健康な体の育成

「心」 豊かな心の育成

「知」 確かな学力の育成

一人一人生き生きと輝く子供たちに

校庭の桜もきれいに開花し、春たけなわとなって参りました。始業式や入学式にむけて、丁度満開の桜の花が新しい年度の始まりを祝ってくれています。爽やかな春風の中、希望と期待に胸躍らせ、2020年度（平成32年度）の教育活動がスタートします。

しかしながら、3月2日より、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として和歌山市では臨時休業となりました。普通に学校生活を送っていた状況が嘘のように一変してしまい、日常が家庭での生活へと様変わりし、自宅待機となりました。それ以来今日に至るまで、目に見えないウイルスにかつてない危機感を募らせられている状況です。本当に日々どうなるのかわからない…生命の危険さえも脅かされる状況が続いています。

3月23日には119人の卒業生とお別れをしました。1組と2組、3組と4組と時間帯を2回に分けて卒業証書授与を実施しました。様々な思いや考えがあるとは思いますが、新型コロナウイルス感染の拡大防止を念頭に置いたうえで、安全安心を考慮しながら学校で証書授与が行えたことにつきましては、本当にうれしく思います。4月9日における入学式では、90人の新1年生を迎えます。時間や規模を縮小しながら、安全安心に配慮した式を行っていきたいと思います。今後、様々な状況に対応しながら、行事等も精査していくこととなります。また、教室環境にしても、一人一人の机を可能な限り離し、換気を十分に行うとともに、ドアやスイッチ等については消毒を行います。マスク等の咳エチケットや手洗いの徹底、毎日の健康観察チェックシートなどを行っていきたいと考えています。ご家庭でも、子供たちの「早寝・早起き・朝ごはん」といった生活習慣や健康管理、不要不急の外出を控える等にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

昨年度末には、20人の教職員が転任や退職をし、今年度は、20人の教職員が新しく着任してきました。これから始まる宮前の教育活動を、少しでも質の高いものとなるように、昨年度同様「チーム宮前」を掲げ、教職員が一丸となって、同じ目的に向かって、学習に運動に生活指導に取り組みます。また、このような事態を踏まえ、昨年からの『いのちの一つ。いのちこそ宝』についても子供たちに丁寧に指導を行い、子供たち一人一人が生き生きと輝き、自信を持って元気いっぱい活動する姿を願っています。

4月には、新しいクラス、新しい担任との出会い、新しい学習など、子供にとっては期待と不安が入り交じった複雑な時期を過ごすこととなります。粘り強く、持続的な活動を支えて頂くのは、保護者の方の日々の励ましや、地域の方々の温かい眼差しです。教職員は子供の心のサインを見逃さないよう、最善の注意をはらって対応します。子供たちの成長を家庭・地域・学校で共に見守っていきましょう。